

フェロバナジウム 相場は露のウクライナ侵攻前より5割上昇

フェロバナジウム (FeV) の国際相場は、主産地ロシアによるウクライナ侵攻を受けて急激な値上りに入り、足元は60.5~63.5ドル/kgとウクライナ侵攻前にくらべて約5割上昇した。より川上の原料となる五酸化バナジウム (V_2O_5) は12ドル/lb前後と年初より4割上昇している。ロシアは供給シェアが2割を占めるなど、中国に次ぐ主要生産国。ロシアがアメリカやヨーロッパなど西側諸国による経済制裁を受けたことで、供給不安が高まり、相場上昇を続けてきた。アドバンストマテリアルジャパンの**松村 洋合金鉄部長**は、「当面の間、物理的にはフェロバナジウムの供給がすぐに止まることはない」とみている。チェコ・Nikomやオーストリア・Treibacherといったヨーロッパのフェロバナジウム大手は、ロシア・Evrazから一定期間分の粗原料をすでに調達済みで、その原料を用いて稼働を維持しているという（**ヨーロッパの主要生産者の詳細は既報・3月8日号**）。だが、ロシア政府の武力行使に批判が強まる中、ロシア品の調達を行うことはESG（環境配慮・社会的責任・企業ガバナンス）の観点で問題視されかねない。ヨーロッパのトレーダーやユーザーでは、「ロシア品の購入を避ける動きが広がっている」（同）という。

中国の V_2O_5 は2年ぶり高値、FeV各社の引合い殺到

五酸化バナジウムの中国相場は2019年8月以来の高値に戻り、フェロバナジウムの中国価格も上昇を続けている。ヨーロッパの鉄鋼メーカー各社がロシア品を購入しない場合、購入先は中国に限られていることから、中国のフェロバナジウムには引合いがすでに殺到している。中国のフェロバナジウム各社も、ヨーロッパの引合いが今後さらに増えると予想し、原料調達を活発化している。一方、中国の五酸化バナジウム大手の中には、設備メンテナンスを理由にした生産停止の動きも出ている。

フェロバナジウムの国際相場がさらなる上昇を続ければ、中国生産者がヨーロッパ需要に対応すべく輸出を拡大する可能性がある。その場合は世界需給が緩むことから、国際相場は結果として調整に入り、2018年に記録した100ドル超の史上最高値を超える状況にはならないとみられている。